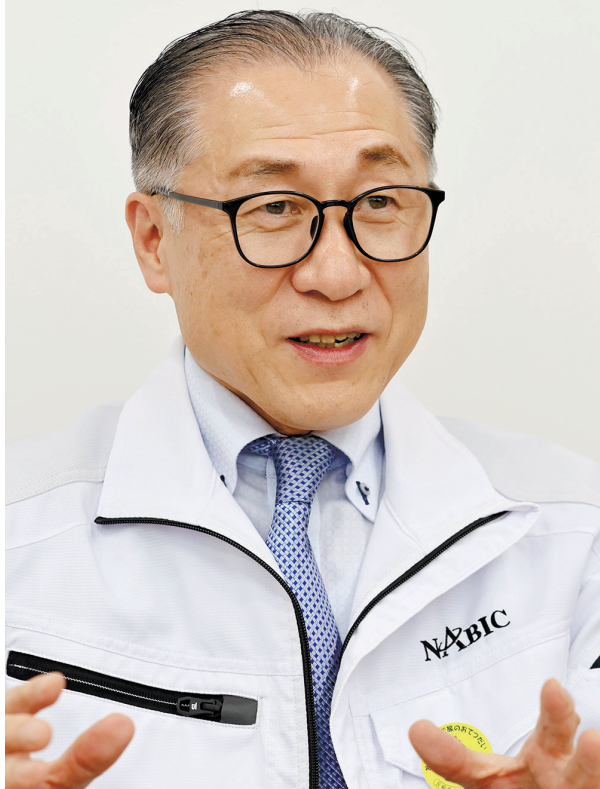


開港50年より魅力的な空港へ



長崎空港ビルディング 代表取締役社長
えとら 衛藤 いさむ 勇 氏

◎出身校

九州大学法学部

◎今年やってみたいこと・チャレンジしたいこと

「長崎偉人伝シリーズ」(長崎文献社)を全冊読み、ゆかりの地と人を訪ねたい

◎趣味

博物館、美術館、図書館でのんびり時間を過ごす

長崎の「空の玄関口」である長崎空港は今年5月1日、開港50周年を迎えます。ANA Aウィングス運航による元旦の初日の出チャーターを皮切りに、年間を通して多彩なイベントを展開していきます。節目の年に合わせ、地域の皆さまに感謝の気持ちを込めて、より魅力的な空港づくりに力を注ぎます。

事業の柱は、長崎空港ターミナルビルの施設管理と離着陸する航空機のオペレーション支援です。お客様に安全で快適な環境を提供するため、社員一丸で細心の注意を払い業務に取り組んでいます。もう一つは、直営の売店とレストランです。売店では県内の「よかもん」を豊富に取りそろえているほか、スタック厳選商品が並ぶ「セレクトシヨップ」を新設し、手に取りたくなる商品を展開。レストランではセルフオーダー導入など、時代に合わせて進化を続けながら、長崎の食文化

を堪能できるメニューを提供しています。今後も直営店舗だけでなく、テナントとして入居されている店舗の皆さまと共に、シヨッピングやグルメを通じて地域の魅力を発信してまいります。コロナ禍を経て中国東方航空の上海線、大韓航空のソウル線が運航を再開しました。今後も国際線拡充とともに、自らの旅行事業にも力を入れてまいります。24年度から始まった中期経

営計画では「次の50年」を見据え、持続可能な経営基盤づくりと新たな価値を生み出すための挑戦を掲げています。リニューアルした会社ホームページは、空港の仕事や働く人の姿を発信。地域に貢献し、共に成長できる空港であり続けます。



2階国内線出発保安検査場一帯をリニューアル

